

自動火災報知設備

の停電時の対応について

- 西日本防災システム

停電時

自動火災報知設備の受信機には、**非常用のバッテリー**が搭載されています。注P型2級1回線の

場合バッテリーが搭載されていない機種があります。

従いまして、通常の停電などにより、常用電源の供給が停止しましても、内蔵バッテリーにより対応できます。

対応時間はそれぞれの機器や使用環境、バッテリーの劣化状況により様々です。

対応時間の目安として **1時間** とお考えください。

警報など

受信機のメーカーや製造年度により様々ですが、停電時に 故障、エラーコードなどを表示する受信機があります。長時間の停電により、バッテリー容量が不足した場合、内部電圧異常ととらえて、警報表示と警報音が鳴動する場合があります。

さらに停電が長引いた場合、受信機の機能が停止する場合があります。

復電後

復電後は、再度バッテリーに充電を開始します。

注意 復電時、受信機メーカーにより 強制的にメンテナンスモードとなる機器があります。

長時間の停電後 復電した場合、特定されない警戒区域で発報信号を送出する機器があります。

非常放送との連動が有る場合、非常放送設備のバッテリー残量があれば放送が鳴動しますので

御注意ください。

長時間停電後は、メンテナンス業者に機器の点検を させていただきます。特に電送タイプのR型をお使いの場合は ご注意ください。

